

時間	果樹 I A312	果樹 II A301	果樹 III A302	野菜 I A204	野菜 II A208	野菜 III A303
9:00	<p>マーカー・遺伝子解析 (カンキツ) 池上 秀利</p> <p>果 001 カンキツ類の多胚性の原因遺伝子の解明と DNA マーカーの開発 ○島田武彦¹・遠藤朋子¹・藤井浩¹・中野道治²・杉山愛子²・大同原野²・太田智¹・吉岡照高¹・大村三男² (農研機構果樹茶部門²・静岡大農学部)</p>	<p>熱帯果樹 香西 直子</p> <p>果 026 果実画像データを利用したレインシム識別の可能性 ○大迫祐太郎¹・江良文宏¹・山根久代¹・林書研²・田尾龍太郎¹ (京都大院農学研究科¹・台湾大園芸景観学部)</p>	<p>栽培生理 齋藤 隆徳</p> <p>果 050 道管液糖含量を指標とした冬季のニホンナシ腋花芽の耐凍性の評価 ○伊東明子¹・阪本大輔¹・杉浦俊彦¹・森口卓哉¹・羽山裕子¹・三谷宣仁¹・山根崇嘉¹・杉山洋行¹・草場新之助 (農研機構果樹茶部門)</p>	<p>栽培 (トマト・キュウリ) 丸尾 達</p> <p>野 001 実験室内で再現した自然光の分光分布の時間変化がキュウリ葉の純光合成速度に及ぼす影響 ○松田怜¹・伊藤寛基¹・富士原和宏 (東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>品種特性・栽培 (イチゴ) 壇 和弘</p> <p>野 024 自殖および他殖がイチゴ品種 'さぬき姫' の果実品質に及ぼす影響 ○柳智博¹・平田あゆみ (香川大農学部)</p>	<p>栽培 (根菜類) 大谷 正孝</p> <p>野 047 山形県庄内地方におけるキクイモの実態調査 その1 分布および利用について ○高梨光法¹・江頭宏昌 (山形大院農学研究科)</p>
9:15	<p>果 002 カンキツ育種における単胚性・多胚性の識別マーカーの有効性 ○山本紗綺¹・岡本充智¹・奥貞丈博¹・島田武彦² (愛媛果樹研セミかん研²・農研機構果樹茶部門)</p>	<p>果 027 熱帯果実に対する <i>Colletotrichum</i> 属分離菌株の病原性 ○Cruz, Andre Freire¹・Barka, Geleta Dugassa³・Ara, Ditzahan Hosne²・Blum, Luiz Eduardo Bassay² (京都府立大院生命環境科学研究所¹・アダム科学テクノロジー大²・ブラジリア大生物学部)</p>	<p>果 051 イチジクにおける主幹部の長さが結果枝中の炭水化物および植物ホルモン含量と果実生産に及ぼす影響 ○宗田健二¹・小谷良実¹・伊東明子² (兵庫農技総セ²・農研機構果樹茶部門)</p>	<p>野 002 高糖度ミニトマトにおける成長点局所加温と加温用ダクトを用いた CO₂ 施用の併用技術の現地実証 ○川西孝秀¹・田中寿弥^{1,2}・松本比呂起^{2,3}・足立裕亮^{2,4}・新田佳穂²・寺口徹²・西平充幸⁵・河崎靖⁶ (和歌山農試暖地園セ²・和歌山日高振興局³・和歌山農試⁴・和歌山政策審議課⁵・JA 紀州⁶・農研機構西日本農研)</p>	<p>野 025 種子繁殖型イチゴ品種 'よつぼし' の個体変異について 柳智博¹・原健¹・永見あかね¹・福田銀仁 (香川大農学部)</p>	<p>野 048 パイプ栽培におけるジェンジョ (<i>Dioscorea japonica</i>) の窒素吸収特性 ○中村嘉孝^{1,2}・田中哲司³・山田忠³・瀧勝俊³・糟谷真宏¹・井上栄一⁴ (愛知農総試²・東京農工大院連合農学研究科³・愛知農総試山間⁴・茨城大農学部)</p>
9:30	<p>果 003 ヒュウガナツ花柱の RNAseq による T2RNase 遺伝子の獲得と発現解析 ○本勝千歳¹・石村修司¹・牛島幸一郎²・Yu.Qibin³・Gmitter, Fred³・鉄村琢哉¹ (官崎大農学部²・岡山大院生命科学研究科³・University of Florida, Citrus Research and Education Center)</p>	<p>カンキツ (育種) 羽生 剛</p> <p>果 028 カンキツ新品種 '瑞季' ○金好純子¹・柳本裕子¹・北島宣²・古田貴音¹・山崎安津³・川崎陽一郎¹・中野道治⁴・塩田勝紀¹・森田剛成¹・松下修司²・中崎鉄也¹ (広島総研農技セ²・京都大院農学研究科³・農研機構果樹茶部門⁴・広島大院理学研究科⁵・広島総研西部工技セ)</p>	<p>果 052 ニホンスモモ '貴陽' (<i>Prunus salicina</i> L.) における側枝の誘引が栄養生殖成長およびその関連遺伝子の発現に与える影響 ○櫻井沙季¹・瀬古澤由彦²・菅谷純子² (筑波大院生命環境科学研究科²・筑波大生命環境系)</p>	<p>野 003 オミクス解析に基づいた自動給液システムによる盛夏期の高糖度トマト栽培 ○今原淳吾¹・寛雄介²・前島慎一郎¹・大石直記¹・本間義之¹・今西俊介¹ (静岡農林技研²・農研機構野菜花き部門)</p>	<p>野 026 種子繁殖型イチゴ 'よつぼし' の長日処理期間の温度が花成に及ぼす影響 ○鶴山浄真¹・西田美沙子 (山口農林総技セ)</p>	<p>野 049 ウイルスフリー化を目指したダイショ (<i>Dioscorea alata</i> L.) の繁殖 ○大城閑¹・佐藤隆徳¹・矢澤進 (京都学園大バイオ環境学部)</p>
9:45	<p>マーカー・遺伝子解析 (カキ・イチジク) 片山 寛則</p> <p>果 004 カキ '酒家' における枝変わり雄花着生にはエビゲノムの挿入が関与する ○増田佳苗¹・赤木剛士^{1,2}・江角智也³・田尾龍太郎¹ (京都大院農学研究科²・JST さきがけ³・島根大院自然科学科)</p>	<p>果 029 カンキツ加工向け品種に対する実需者ニーズの把握および育種選抜における評価基準の作成 ○太田智¹・河野恵伸²・別所英男¹・浜田宏子¹・野中圭介¹・吉岡照高¹ (農研機構果樹茶部門²・農研機構食農ビジネス推進センター)</p>	<p>果 053 マンゴーの果皮着色に及ぼす光量の影響と品種間における着色機構の差異 ○田中祐太¹・一掃明日香¹・松原拓輝²・杉本敦信²・志水恒介³・小枝壮太²・神崎真哉² (近畿大院農²・近畿大農³・近畿大附属農場)</p>	<p>栽培 (トマト) 松田 怜</p> <p>野 004 塩ストレス条件下における日蘭品種トマトの同化産物分配とシロク強度の違い ○前田和也¹・淨閑正史²・塚越覚²・丸尾達² (千葉大院園芸研究科²・千葉大園芸学部)</p>	<p>野 027 本圃直接定植法における培養液濃度と葉数がイチゴ種子繁殖型品種 'よつぼし' の開花に及ぼす影響 ○香西修志¹・植田舞世¹・中條里映 (香川農試)</p>	<p>栽培 (モロヘイヤ・ケール等) 江頭 宏昌</p> <p>野 050 モロヘイヤ新品種 'さぬきのへイヤ' の育成と栽培方法について ○小野西¹・池内隆夫¹・大矢啓三²・渡邊丈夫^{1,4}・藤村俊夫³ (香川農試²・西農農普セ⁴・JA 香川³・香川農試病害虫防)</p>
10:00	<p>果 005 トランスクリプトーム解析による日本タイプ完全甘と中国タイプ完全甘の PA 蓄積制御メカニズムの比較 ○西山総一郎¹・尾上典之²・河野淳²・佐藤明彦²・田尾龍太郎¹・米森敬三¹ (京都大院農学研究科²・農研機構果樹茶部門³・龍谷大農学部)</p>	<p>果 030 '菊池レモン' の放射線利用による突然変異育種における好適条件の検討および無核個体の選抜 ○荒井那由他¹・池田行謙²・関口正之³・中川清子³ (東京小笠原農セ²・東京農総研³・東京産技研)</p>	<p>ブドウ 白石 美樹夫</p> <p>果 054 ブドウ新品種 '長果 G11' の育成 ○平賀正浩¹・峯村万貴²・等々力友也³・泉克明¹ (長野野果樹試²・長野農試³・長野南信農試)</p>	<p>野 005 植物発酵物がトマトの硝酸トランスポートー遺伝子の発現におよぼす影響 ○古川一¹・佐藤純²・高下和弘²・田頭康徳²・安部俊輔²・武藤雅信² (大阪府大院生命環境科学研究科²・万田発酵 (株) アグリバイオ事業部)</p>	<p>栽培・育種等 (イチゴ) 柳 智博</p> <p>野 028 日中の加温がイチゴ 'さがほのか' の収量に及ぼす影響 ○田川愛¹・江原愛美²・伊藤優佑¹・江頭浄二¹・大車和義¹ (佐賀農試験研セ²・東松浦農改普セ)</p>	<p>野 051 窒素施肥量の違いがモロヘイヤのビタミン K1 含有量に与える影響 ○大門奈那子¹・辻朋子¹・山本有子¹・原正之 (三重農研)</p>
10:15	<p>果 006 イチジク <i>RANI</i> 遺伝子上の SNP を検出する DNA マーカーの開発と迅速 PCR による雌雄判別 ○池上秀利¹・白澤健太²・薬師寺博³・姫野修一¹ (福岡農林総試豊前²・かずさ DNA 研³・農研機構果樹茶部門)</p>	<p>カンキツ (栽培) 鉄村 琢哉</p> <p>果 031 人工受粉に用いる '日向夏' 花粉への順化処理が花粉発芽率に及ぼす影響 ○廣瀬拓也¹・西森空¹・藤田みのり²・尾形凡生² (高知農技セ果樹試²・高知大農学部)</p>	<p>果 055 植物ホルモン処理がブドウ 'シャインマスカット' 果実の味覚に及ぼす影響 ○末廣優加^{1,2}・江角智也³・三輪由佳¹・谷本秀夫¹ (大阪環境水総研²・鳥取大院連合農学研究科³・島根大学院研究院)</p>	<p>野 006 Influence of Hairy Vetch and Rye on Soil Nitrogen Availability, Nitrogen Use Efficiency, Fresh-market Tomato Yield and Fruit Quality ○Muchanga, Rafael¹・荒木肇² (北海道大北方生物園セ)</p>	<p>野 029 CO₂ の群落内施用がイチゴの収量と糖度に及ぼす影響 井狩徹^{1,2}・松田考平¹・河田智明¹・本間義之¹ (静岡農林技研²・静岡中部農林事務所)</p>	<p>野 052 北海道における越冬期無加温栽培でのポーレコールの播種期の検討 ○古山真一¹・地子立 (北海道総研機構上川農試)</p>

野菜 IV A304	花き I A416・417	花き II A305	利用 I A306	利用 II A309	時間
<p>病害1 (キュウリ・トマト) 小枝 壮太</p> <p>野 069 「きゅうり中間母本農7号」のバイヤ輪点ウイルススーイカ系 (PRSV-W) に対する抵抗性の遺伝 ○杉山充啓・下村晃一郎・川頭洋一 (農研機構野菜花き部門)</p> <p>野 070 トマト黄化葉巻病抵抗性遺伝子 <i>TYNBS1</i> の機能解析 ○山口博隆¹・大西純²・刑部敬史³・刑部祐里子³・渡邊みゆき⁴・布目司¹ (農研機構野菜花き部門² 農研機構中央農研³ 徳島大生物資源産業学部)</p> <p>野 071 三重県で分離した ToCV のゲノム配列解析および ToCV の接木による接種法と定量法の開発 ○渡邊みゆき¹・山口博隆¹・大西純²・布目司¹ (農研機構野菜花き部門² 農研機構中央農研)</p>	<p>発育・形態・収穫後生理 佐藤 茂</p> <p>花 001 主茎節位に依存したリンドウ1年生株の形態形成 ○阿部弘^{1,2}・西島隆明^{2,3} (岩手農研セ¹ 筑波大院生命環境科学研究科² 農研機構野菜花き部門)</p> <p>花 002 リンドウの高冷地育苗による花持ちへの影響 ○石川貴之・佐藤加奈巳 (埼玉農研セ)</p> <p>花 003 ダリア花の老化におけるプロテオーム細胞死の品種間差 ○東未来¹・川口夏生・熊坂健仁・百瀬博文・腰岡政二 (日本大生物資源科学部)</p> <p>花 004 品質保持剤処理が切り花の同時開花性に与える影響 ○近藤万里子・渋谷健市・市村一雄 (農研機構野菜花き部門)</p> <p>花 005 カーネーション ACC 合成酵素の対立遺伝子 (<i>DeACS1a-b</i>) の検証 ○佐藤茂^{1,2}・小杉祐介²・野村佳宏¹・渡辺佳月² (龍谷大農学部² 香川大農学部)</p> <p>花 006 トレンシア品種における向軸側花卉の着色機構 ○西島隆明・近藤万里子 (農研機構野菜花き部門)</p>	<p>栽培・作型・開花生理1 村松 嘉幸</p> <p>花 020 ストックアイン系品種の秋切り作型における定植後の高温処理が切り花品質に与える影響 ○佐藤憲二郎¹・宮坂昌実¹・神谷勝巳²・宮本賢二¹ (長野野花試¹ 長野農業技術課)</p> <p>花 021 秋輪ギクの短茎・密植栽培の検討と炭酸ガス施用によるボリュームアップ ○今給黎征郎・白山竜次 (鹿児島農研セ)</p> <p>花 022 東京の夏花壇におけるヒマワリ品種の開花期間と花色 (第3報) 7月下旬の開花のための播種期および栽培法の違いと主茎長 (草丈) の検討 ○吉岡孝行 (東京農林総研セ江戸川分場)</p> <p>花 023 エラチオール・ペゴニアへの夜間冷房処理が開花および生育に及ぼす影響 ○中島拓^{1,2}・後藤丹十郎²・加古哲也³・道園美哉⁴・室田有里¹・加藤正弘¹ (千葉農林総研セ² 岡山大院環境生命科学研究科³ 鳥根農技セ⁴ 農研機構野菜花き部門)</p> <p>花 024 暖地におけるトルコギキョウ二番花の開花に及ぼす育苗条件と温度の影響 ○花田裕美 (和歌山農試暖園セ)</p> <p>花 025 秋冬出荷するトルコギキョウの生育に及ぼす育苗期間とセルサイズの影響 ○福島啓吾・梶原真二・石倉聡・時安美奈 (広島総研農技セ)</p>	<p>出荷・流通 椎名 武夫</p> <p>利 001 簡易型差圧通風方式でのタマネギ 50t 乾燥実証 ○竹川昌宏¹・村上和秀¹・中西幸太郎²・神田智彦³ (兵庫農林水技総セ² 南淡路普及セ³ あわじ島農協)</p> <p>利 002 無水銀ランプを用いた新規殺菌剤の開発 ○高野友二郎・芹澤和泉 ((株) オーク製作所)</p> <p>利 003 混載による船便および航空便による輸出が農産物の品質に与える影響 ○池ヶ谷篤^{1,4}・豊泉友康¹・大場聖司¹・中島輝子¹・長藤亮彦¹・中村茂和²・伊藤聖子^{3,4}・新井映子^{3,4} (静岡農林技研⁴ 静岡県大院薬食生命科学総合学府² 静岡農林技研果樹研セ³ 静岡県大食品栄養科学部)</p> <p>利 004 コンテナ被覆資材の違いが常温でのレモン貯蔵性に及ぼす影響 ○竹岡賢二・塩田俊 (広島総研農技セ)</p> <p>利 005 カットレタスの貯蔵に伴う遺伝子発現変化の RNA-seq 解析 ○永田雅晴¹・菊地直²・椎名武夫³ (農研機構食品部門² 農研機構野菜花き部門³ 千葉大園芸)</p> <p>利 006 空心菜の収穫後における品質変動 ○ウェンダコーンスミトラ・吉村大輔・妹尾拓司・今井健嗣・小倉孝明・中澤賢樹 (龍谷大)</p>	<p>カキ 鈴木 哲也</p> <p>利 020 輸出に向けた SCS (スーパークーリングシステム) によるカキ「西条」および「太天」の長期貯蔵の可能性 ○板村裕之¹・中務 明¹・江角智也¹・倉橋孝夫²・大畑和也²・三島晶太²・小山未来²・薬師寺博³・山崎安津³・大野三規⁴・森真弓⁴・飯塚修治³・常松靖行³・西尾一俊² (鳥根大生物資源科学部² 鳥根農技セ³ 農研機構果樹茶部門⁴ スーパークーリングラボ⁵ JAしまね)</p> <p>利 021 実果の SCS (スーパークーリングシステム) 冷蔵貯蔵について ○黒田華織・秋元秀美・櫻井直樹 (広島大院生物園科学研究所)</p> <p>利 022 カキ「西条」における樹上軟化と気象要因との関係 ○大畑和也¹・川上裕也¹・三島晶太¹・持田圭介¹・倉橋孝夫¹・中務明²・板村裕之² (鳥根農技セ² 鳥根大)</p> <p>利 023 カキ「太天」のドライアイス脱炭と SCS (スーパークーリングシステム) による長期冷蔵貯蔵法の検討 ○三島晶太¹・持田圭介¹・大畑和也¹・高橋利幸¹・川上裕也²・板村裕之³ (鳥根農技セ² 鳥根西部農振セ³ 鳥根大生物資源科学部)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p>
<p>病害2 (キュウリ・トマト) 山口 博隆</p> <p>野 072 感染性クローンを用いたキュウリ、メロン、カボチャへの ToLCNDV の接種 ○山本浩登・脇田有哉・北岡俊也・藤代康平・神崎真哉・小枝壮太 (近畿大農学部)</p> <p>野 073 Ys-3a 耐病性トマトに感染した PepYLCIV と TYLCKaV の siRNA およびメチル化解析 ○小枝壮太¹・藤原都也¹・Kesumawati, Elly²・Zakaria, Sabaruddin²・神崎真哉¹ (近畿大院農学研究科¹ Syiah Kuala University²)</p> <p>野 074 新たなペゴモウイルス PepYLCaV はトウガラシおよびトマトの生育を大きく阻害する ○岡部祥子¹・Kesumawati, Elly²・Zakaria, Sabaruddin²・神崎真哉¹・小枝壮太¹ (近畿大院農学研究科² Syiah Kuala University)</p>	<p>遺伝子解析1 東 未来</p> <p>花 005 カーネーション ACC 合成酵素の対立遺伝子 (<i>DeACS1a-b</i>) の検証 ○佐藤茂^{1,2}・小杉祐介²・野村佳宏¹・渡辺佳月² (龍谷大農学部² 香川大農学部)</p> <p>花 006 トレンシア品種における向軸側花卉の着色機構 ○西島隆明・近藤万里子 (農研機構野菜花き部門)</p>	<p>栽培・作型・開花生理2 福田 直子</p> <p>花 024 暖地におけるトルコギキョウ二番花の開花に及ぼす育苗条件と温度の影響 ○花田裕美 (和歌山農試暖園セ)</p> <p>花 025 秋冬出荷するトルコギキョウの生育に及ぼす育苗期間とセルサイズの影響 ○福島啓吾・梶原真二・石倉聡・時安美奈 (広島総研農技セ)</p>	<p>収穫後生理(野菜) 松本 雄一</p> <p>利 005 カットレタスの貯蔵に伴う遺伝子発現変化の RNA-seq 解析 ○永田雅晴¹・菊地直²・椎名武夫³ (農研機構食品部門² 農研機構野菜花き部門³ 千葉大園芸)</p> <p>利 006 空心菜の収穫後における品質変動 ○ウェンダコーンスミトラ・吉村大輔・妹尾拓司・今井健嗣・小倉孝明・中澤賢樹 (龍谷大)</p>	<p>利用・加工 本多 親子</p> <p>利 024 デンプン糊化温度の異なる黒ダイズエダマメにおける高温浸漬処理が加熱後のマルトース生成に及ぼす影響 ○廣田智子 (兵庫農技総セ)</p> <p>利 025 レンコンの皮の利用及び乾燥方法の違いが加工粉末の品質、ホリフェノール含量、抗酸化活性に及ぼす影響 ○石井貴¹・渡辺万里¹・飯村健¹・井上栄一² (茨城農総セ園研² 茨大農学部)</p>	<p>10:00</p> <p>10:15</p>

時間	果樹 I A312	果樹 II A301	果樹 III A302	野菜 I A204	野菜 II A208	野菜 III A303
10:30	<p>マーカー・遺伝子解析 (ナシ) 奈島 賢児</p> <p>果 007 ナツナシにおいて香氣成分の QTL を示した領域への AAT (alcohol acyl transferase) 遺伝子のマッピング ○岸本祐子¹・関本陽介²・保坂ふみ子³・上野真奈²・山本俊哉³・吉田康子⁴・齋藤寿広³・名田麻希子²・片山寛則⁴ (1)神戸大農学部, (2)神戸大院農学研究科, (3)農研機構果樹茶部門, (4)神戸大院農学研究科食資源セ)</p>	<p>果 032 ヒュウガナツの果実品質と気象条件との関係 ○前田未野里・浜部直哉・種石始弘・稲葉善太郎 (静岡農林研伊豆農研セ)</p>	<p>果 056 ブドウ 'シャインマスカット' の2回目ジベレリン処理時の CPPU 単用処理が果実品質に及ぼす影響 ○福田哲生・真鍋徹郎・濱野康平 (香川農試府中果樹研)</p>	<p>野 007 有機肥料と化学肥料の施肥の違いがミニトマトの生育、収量および品質に及ぼす影響 甲斐貴光¹・西森隼也²・土生晴麗奈²・元木悟²・玉置雅彦² (1)明治大黒川農場, (2)明治大農学部)</p>	<p>野 030 イチゴ果実の食味特到低沸点香氣成分と糖濃度に影響する要因について ○吉田裕一¹・櫻井美緒²・後藤丹十郎¹・安場健一郎¹・田中義行¹ (1)岡山大院環境生命科学研究所, (2)岡山大農)</p>	<p>野 053 ヤマトウキ栽培における雑草発生量の低減 ○大谷正孝 (奈良農研セ)</p>
10:45	<p>果 008 ニホンナシ果実のスクロース含量に関する DNA マーカーの開発 ○佐藤みそら¹・西尾聡悟²・寺上伸吾²・齋藤寿広²・山本俊哉²・村山秀樹²・板井章浩¹ (1)京都府立大生命環境科学研究科, (2)農研機構果樹茶部門, (3)山形大農学部)</p>	<p>果 033 日中の生体および環境計測によるウンシュウミカンの水ストレス程度の推定 ○矢野拓・吉澤栄一・清末義信 (大分農林水研)</p>	<p>果 057 ホルモン処理方法の違いがブドウ '紫苑' の房形および果実品質に及ぼす影響 ○中島謙・安井淑彦・平井一史 (岡山農研)</p>	<p>栽培 2 (トマト) 今原 淳吾</p> <p>野 008 赤外線カット資材による遮光が夏秋トマトの表面温度および生育・収量に及ぼす影響 ○宮本哲郎・岩本英伸 (熊本農研セ高原農研)</p>	<p>野 031 核置換による雄蕊形態異常系統の再作出と戻し交配による推定倍率の変化 ○野口裕司¹・片岡園¹・藤戸聡史¹・内田裕也² (1)農研機構野菜花き部門, (2)埼玉農試研セ)</p>	<p>育種・栽培 (アスパラガス) 岡田 高広</p> <p>野 054 春どり収量が高い紫アスパラガス新品種 '長・野交 51 号' ○曾我江里・丸山秀幸・清水時哉・酒井浩見・小澤智美 (長野野菜花き試)</p>
11:00	<p>果 009 ナシ遺伝資源類における S 遺伝子の多様性 2. S-RNase 超可変領域の微細な変異 ○今井剛・土師岳 (農研機構果樹茶部門)</p>	<p>果 034 Abnormal High Temperature affects the flowering and fruit quality of 'Shiranuhi' Mandarin Hybrid ○Kang, Seokbeom・Moon, Youngeel・Park, Kyungjin・Kim, Sangsuk・Joa, Jaeho (農村振興庁 国立園芸特作科学院 柑橋研究所)</p>	<p>ブドウ 2 片山 礼子</p> <p>果 058 ブドウ 'シャインマスカット' における花蕾黒変症候 (仮称) の発生原因と対策 ○持田圭介・永島進 (島根農試セ)</p>	<p>野 009 加工用トマトにおける育苗および気象条件が開花に与える影響 ○鳥越昌隆・江原清・大久保進一 (北海道花野枝セ)</p>	<p>成分・香り (果菜類) 上田 浩史</p> <p>野 032 キュウリの「フケ果」における内生植物ホルモンの変化 ○伊藤正剛¹・児島清秀² (1)新潟大農学部, (2)新潟大院自然科学研究科)</p>	<p>野 055 全面マルチ栽培によるアスパラガス短期完結栽培における茎枯病が収量に及ぼす影響 ○酒井浩見・小松和彦 (長野野菜花き試)</p>
11:15	<p>マーカー・遺伝育種 (核果類) 島田 武彦</p> <p>果 010 オウトウにおける果実重および 'サブキザ' 由来の果皮着色性に関する DNA マーカー選抜 ○多田史人¹・五十鈴川寛司¹・小野寺玲子¹・齋藤裕太郎²・安達栄介³・白澤健太⁴・石黒亮¹ (1)山形農総研セ園試, (2)山形最上農技普及課, (3)山形農林水産部, (4)かさざ DNA 研)</p>	<p>常緑果樹 喜多 正幸</p> <p>果 035 ビワ新品種 'BN21 号' ○谷本恵美子¹・橋口浩子²・坂口龍之介¹・柳間直史³・福田伸二⁴・富永由紀子⁵・中山久之³・寺井理治⁶・石本慶一郎¹・根角博久⁷・佐藤義彦⁸ (1)長崎農試七果樹茶, (2)長崎県農振興局, (3)長崎農試セ, (4)佐賀大農学部, (5)長崎市農振興局, (6)元長崎果樹試, (7)農研機構九州農研, (8)日園連)</p>	<p>果 059 雨除け栽培における光環境がブドウ 'ビオーネ' の果実生産に及ぼす影響 ○船橋徹郎¹・桐崎力¹・渡邊康之²・表研次³ (1)長野果樹試, (2)公立諏訪東京理科大学, (3)イデアルスター)</p>	<p>野 010 多日射条件時の茎数増加が促成栽培トマトの生育・収量に及ぼす影響 ○岩崎泰永¹・大石真実²・安東赫¹ (1)農研機構野菜花き部門, (2)大塚環農水総研)</p>	<p>野 033 青森県在来トウガラシ品種 '弘前在来' の特徴的揮発性成分 ○村上裕介¹・岩淵久克¹・前田智雄² (1)三栄源エフ・エフ・アイ (株), (2)弘前大農学生命科学部)</p>	<p>野 056 長野県の高冷地におけるアスパラガスの短期完結栽培における茎枯病が収量に及ぼす影響 ○小松和彦・酒井浩見 (長野野菜花き試)</p>
11:30	<p>果 011 5種のバラ科サクラ属果樹における種間交雑和合性 ○森本拓也¹・北村祐人²・沼口孝司²・赤木剛士³・田尾龍太郎³ (1)京都府立大院生命環境科学研究科, (2)和歌山果樹試うめ研, (3)京都大院農学研究科)</p>	<p>果 036 山間地ユズ園における ¹³⁷Cs の果実への移行要因の検証および汚染量診断法の開発 ○佐藤守^{1,4}・渡邊善仁¹・高瀬つぎ子²・高田大輔³・山口克彦⁴ (1)福島農総七果樹研, (4)福島大理工, (2)福島大環境研, (3)福島大食農)</p>	<p>果 060 ブドウ '巨峰' のアントシアニン、糖合成に及ぼすアブシシン酸代謝・シグナル伝達および光質の関連 ○近藤悟¹・増田有希乃¹・玉珊瑞¹・齋藤隆徳¹・大川克哉¹・小原均²・森泰司³ (1)千葉大院園芸学研究所, (2)千葉大院健康フィールド科学セ, (3)静岡大農)</p>	<p>野 011 トマトの夏秋作における強勢台木の使用が生育および収量に及ぼす影響 ○杉山智美¹・中野有加¹・牛島弘貴²・横川武弘³・岩崎泰永¹ (1)農研機構野菜花き部門, (2)愛三種苗, (3)タキイ種苗)</p>	<p>野 034 紫パプリカ果実の生育過程における色変化に関わるアントシアニン合成と分解機構 ○山田雄史¹・中山真義²・柴田浩光³・岸本早苗³・池田敬³ (1)明治大院農学研究科, (2)農研機構野菜花き部門, (3)明治大農学部)</p>	<p>野 057 グリーンおよびムラサキアスパラガスにおける異なる軟白法が若茎の収量および品質に及ぼす影響 ○加藤綾夏¹・田口巧²・津田漢子²・長山弥生¹・小澤真央¹・田中修平¹・元木悟¹ (1)明治大農学部, (2)明治大院農学研究科)</p>
11:45	<p>果 012 Target capture 法に基づく日本と中国のウメの集団構造および系統関係について ○沼口孝司^{1,2}・赤木剛士^{3,4}・北村祐人¹・石川亮²・石井摩生² (1)和歌山果樹試うめ研, (2)神戸大院農学研究科, (3)京都大院農学研究科, (4)JST さきがけ)</p>	<p>果 037 モクセイ科植物のオリブに対する接ぎ木親和性とオリブアナキゾウムシの嗜好性について ○中島修・二村友彬・渡辺茂・深澤智恵妙 (神奈川農試七尾柄地区事務所)</p>			<p>野 035 非辛味性トウガラシ (<i>Capsicum chinense</i>) の未熟・成熟果における揮発性成分分析 ○蓮真海¹・山本浩登²・田中靖人²・尾崎早也佳²・富研一³・田中義行⁴・神崎真哉^{1,2}・小枝壮太^{1,2} (1)近畿大院農学研究科, (2)近畿大農学部, (3) (株) 稲畑香料, (4)岡山大院環境生命科学研究所)</p>	<p>野 058 アスパラガスの新栽培法 (採りつき栽培) における輪作の可能性 ○津田漢子¹・田口巧¹・加藤綾夏²・田中修平²・小澤真央²・長山弥生²・松永邦則³・元木悟⁴ (1)明治大院農学研究科, (2)明治大農学部, (3)バイオニアエコサイエンス (株))</p>

野菜Ⅳ A304	花きⅠ A416・417	花きⅡ A305	利用Ⅰ A306	利用Ⅱ A309	時間
<p>育種・遺伝資源(ナス科) 吉岡 洋輔</p> <p>野 075 ラオスにおけるナス遺伝資源の共同探索調査、2018年 ○濱登尚徳¹・宮武宏治²・Vilayphone, Tounglieng³・Simeangkhoum, Mekkhala³・Sisaphaitong, Thongkhoum³・齊藤匡雄²(¹新潟農総研園研セ,²農研機構野菜花き部門,³ラオス園研セ)</p> <p>野 076 カンボジア中央および中西部地域におけるトウガラシ遺伝資源の共同探索 ○松永啓¹・田中義行²・Mat, Leakhe³・Sakhan, Sophany³(¹農研機構野菜花き部門,²岡山大学院環境生命科学研究科,³カンボジア農開研)</p> <p>野 077 約培養技術を活用した多収性カラーピーマンF1品種の育成 ○武田和宣¹・原口祐輔¹・安田智昭²・横田真³・田中義弘⁴・山口和典¹・郡司孝幸¹・大田哲史⁵・中山新生¹・篠原陽子³・杉田亘⁶・杉尾昌嗣⁷・細美祐子⁸(¹宮崎総農試,²茨城農総セ鹿島特産,³高知農総セ,⁴鹿児島農総セ,⁵宮崎児湯農振,⁶南九州大,⁷宮崎中部農振,⁸高知中央西農振セ高知農改)</p>	<p>花 007 ラン科植物ダイサギソウにおける獅子咲き変異の原因遺伝子特定 ○三苦舞・梶野祐未・菅野明(東北大学院生命科学研究科)</p> <p>花 008 全ゲノム配列解析によるベチュニア八重咲き性形質の原因遺伝子の探索 ○河崎実之・汪姫(東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>花 026 Effects of redry temperature and storage duration after cold-imbibed seed on germination, bolting and flowering in <i>Eustoma</i> ○ファンタオ¹・福島啓香²・田中義行¹・安場健一郎¹・吉田裕一¹・後藤丹十郎¹(¹岡山大学院環境生命科学研究科,²広島総技研農技セ)</p> <p>花 027 新型根域環境制御装置(NRECS)による冬季の根域加温が切り花ガーベラの収量と省エネルギー性に及ぼす影響 ○村松嘉幸・窪田聡・小平歩・横山有紀・池亀侖奈・工藤愛美保・福岡祐哉・水田大輝・腰岡政二(日本大生物資源科学部)</p>	<p>利 007 収穫後減圧下1-MCP処理を施したビノグリーン(コマンナペビリーフ)の鮮度変化 ○大塚絵理香¹・山口敏樹²・志村華子¹・実山豊¹・鈴木卓¹(¹北海道大院農,²(株)アド・ワン・ファーム)</p> <p>利 008 異なる3種の包装資材がプロックリーにおける収穫後の鮮度保持に及ぼす影響 ○塩澤樹花¹・石井葉菜子³・肌野宝星²・佐藤嘉倫³・伊藤淳³・山本智也³・大貫学²・元木栞¹(¹明治大農学部,²明治大院農学研究科,³(株)シモジマ)</p>	<p>利 026 アンズ、スモモおよびネクタリンにおける酵素剥皮の検討 ○橋本望¹・村上寛¹・滝沢潤²・木下友花²・石井香奈子¹・荒木勇二¹(¹静岡農技研果樹研セ,²長野農工研)</p> <p>利 027 Photosynthetic and metabolic response of cold stressed coffee (<i>Coffea arabica</i> L.) seedlings to foliar nitrogen supply. ○Acidri, Robert¹・笹川大輔¹・Wacal, Cosmas¹・Basalirwa, Daniel¹・澤井由美子²・西原英治³(¹鳥取大連合農学研究科,²(株)澤井珈琲,³鳥取大農学部)</p>	10:30
<p>育種・遺伝資源(トマト) 山本 英司</p> <p>野 078 トマトモデル品種'Micro-Tom Japan'を基盤としたバイオリソース整備 ○篠崎良仁¹・星川健^{1,2}・伊藤直子¹・有泉亨¹・福田直也¹・金山喜則³・久保康隆⁴・矢野健太郎⁵・青木考⁶・江面浩¹(¹筑波大生命環境系,²国際農研,³東北大院農学研究科,⁴岡山大学院環境生命科学研究科,⁵明治大農学部,⁶大阪府大院生命環境科学研究科)</p> <p>野 079 <i>Solanum</i>属の野生種トマトにおける複製の外部形態特性 ○村田樹昭¹・知野奈苗²・小林孝至¹・田淵俊人¹(¹玉川大院農学研究科,²玉川大農学部)</p> <p>野 080 低アレルギートマトの作出に向けた野生種および栽培種トマトの探索と、その有用性に関する研究 ○小林孝至¹・石川慎子²・遠藤総一郎¹・新本洋士¹・田淵俊人¹(¹玉川大院農学研究科,²玉川大農学部)</p>	<p>遺伝子解析2・遺伝子組換え 西島 隆明</p> <p>花 009 ノイバラの自家不和性を制御するSRNase遺伝子の探索と配列解析 ○坂本亮介¹・津川真輝¹・落合正樹³・太田垣駿吾²・山田邦夫³・松本省吾²・河村耕史¹(¹大阪工業大院工学研究科,²名古屋大院生命農学研究科,³岐阜大院応用生物科学科)</p>	<p>栽培・作型・開花生理3 後藤 丹十郎</p> <p>花 028 異なる電照光源および電照時間による長日処理がダリアの切り花品質に及ぼす影響 ○三宅明子(長野野花試)</p>	<p>品質評価 永田 雅晴</p> <p>利 009 可視・近赤外分光法による非破壊計測を用いた成熟期が異なるミニトマトにおける収穫後の糖度、リコペン含量および比重減少率の変化 ○山永祥子¹・永田寛¹・藤崎涼香¹・堤淑貴²・元木栞¹(¹明治大農学部,²明治大院農学研究科)</p>	<p>園芸療法・活動・その他 井上 栄一</p> <p>利 028 活け花課題の有無が高齢者の前頭前野における血流量に及ぼす影響 ○三田清華¹・林孝洋^{1,2}(¹近畿大院農学研究科,²近畿大農学部)</p>	11:00
<p>野 079 <i>Solanum</i>属の野生種トマトにおける複製の外部形態特性 ○村田樹昭¹・知野奈苗²・小林孝至¹・田淵俊人¹(¹玉川大院農学研究科,²玉川大農学部)</p>	<p>花 010 サクハラ「ソメイヨシノ」の全ゲノム配列の解説 ○白澤健太¹・江角智也²・平川英樹¹・田中秀幸²・板井章浩³・ゲルフィアンドレア¹・長崎英樹¹・磯部祥子¹(¹かずさDNA研,²鳥根大,³京都府大)</p>	<p>花 029 ダリアの冬春出し作型における電照時間帯および電照方法が開花および切り花品質に及ぼす影響 ○瀬戸山修仁¹・菓山拓郎¹・中村知佐子^{1,2}(¹福岡農林試資源セ,²福岡南筑後普セ)</p>	<p>利 010 トマト'湘南ボロン'の収穫・追熟ステージによる品質変化 ○澤田幸尚・曾我綾香・安井奈々子・草野一敬・吉田誠(神奈川農技セ)</p>	<p>利 029 農地のヒートアイランド緩和効果に関する研究-人工土地被覆と農地の環境シミュレーション- ○橋田祥子¹・大森宏¹・井原智彦²・山口和貴³・杉村俊郎⁴・河崎実之¹(¹東京大院農学生命科学研究科,²東京大院新領域創成科学研究科,³東京電力HD(株),⁴日本大院生産工学部)</p>	11:15
<p>野 079 <i>Solanum</i>属の野生種トマトにおける複製の外部形態特性 ○村田樹昭¹・知野奈苗²・小林孝至¹・田淵俊人¹(¹玉川大院農学研究科,²玉川大農学部)</p>	<p>花 011 次世代シーケンサーを用いたゲノム編集ギクの変異配列の解析 ○加星光子^{1,2}・寿寿隆³・間寛太郎¹・佐々木克友¹(¹農研機構野菜花き部門,²日本学術振興会(RPD),³農研機構高度解析センター)</p>	<p>花 030 遠赤色LEDによる長日処理がキンギョソウの生育・開花に及ぼす影響 ○稲葉善太郎・馬場富二夫・松田健太郎・加藤智恵美・勝岡弘幸・種石始弘(静岡農林技研伊豆農研セ)</p>	<p>利 011 ラ・フランスの粘弾性によるメルティング評価 ○秋元秀美・黒田華織・櫻井直樹(広島大院生物園科学)</p>	<p>利 030 High-Accuracy Functional Annotation in Plants with Hayai-Annotation Plants ○Ghelfi, Andrea¹(¹Ghelfi Andrea)</p>	11:30
<p>野 080 低アレルギートマトの作出に向けた野生種および栽培種トマトの探索と、その有用性に関する研究 ○小林孝至¹・石川慎子²・遠藤総一郎¹・新本洋士¹・田淵俊人¹(¹玉川大院農学研究科,²玉川大農学部)</p>	<p>花 012 ペプチド-DNA複合体を用いた葉緑体ゲノム組換えタバコの作出 ○木村光宏¹・吉積毅¹・沼田圭司¹(¹高崎健康福祉大,²理研 CSRS)</p>	<p>花 031 EOD-FR処理と加温処理がストックの花芽分化ならびに草丈伸長に及ぼす影響 ○竹村圭弘¹・藤田健志¹・乾井彩¹・岸本真幸²・田村文男¹(¹鳥取大農学部,²鳥取園試)</p>	<p>利 012 天秤型食感測定装置によるカキ果実のサクサクとした食感の測定方法 ○鈴木哲也¹・秋元秀美²・新川猛¹・杉浦真由¹・櫻井直樹¹(¹岐阜農技セ,²広島大院生物園科学研究科)</p>	11:45	

時間	果樹 I A312	果樹 II A301	果樹 III A302	野菜 I A204	野菜 II A208	野菜 III A303
9:00	<p>ニホンナシ(受粉) 竹村 圭弘</p> <p>果 013 ニホンナシでの果樹用静電風圧式受粉機による人工受粉における花粉の希釈倍率の検討 ○村上寛¹・平井実季¹・吉川公規¹・山根俊²(¹静岡農技研果樹研セ,²静岡農技研)</p>	<p>リンゴ 田中 紀充</p> <p>果 038 農研機構のリンゴ育種1次選抜試験に対応したデータベースシステムの開発 ○森谷茂樹・岡田和馬・清水拓・阿部和幸(農研機構果樹茶部門)</p>	<p>カキ 1 三谷 宣仁</p> <p>果 061 六倍体であるカキ品種間の近縁度推定に向けたゲノムワイドな量的多型の利用 ○尾上典之¹・永野博²・河野淳¹・東暁史¹・佐藤明彦¹(¹農研機構果樹茶部門²龍谷大農学部)</p>	<p>栽培3(トマト) 岩崎 泰永</p> <p>野 012 トマト育苗時におけるintumescenceの形態及び発生過程 ○西内梨乃(千葉大園芸学部)</p>	<p>遺伝子解析1 藤本 龍</p> <p>野 036 イチゴの全ゲノム配列を利用した品種の固定度の推定 ○磯部祥子¹・白澤健太¹・丹羽千紘²・北村八祥²・香西修志³・森利樹²(¹かずさDNA研,²三重農研,³香川農試)</p>	<p>育種・栽培(タマネギ) 山本 岳彦</p> <p>野 059 極早生タマネギにおける頭球形成能の個体差と遺伝性 ○藤川哲平・本間義之(静岡農技研)</p>
9:15	<p>果 014 ニホンナシの受粉樹における品種および樹形の違いが着花量、作業性に及ぼす影響(第2報) ○島田智人¹・前島秀明¹・柴崎茜¹・浅野亘¹・大西正洋²・深井智子²(¹埼玉農技研セ,²農研機構革新工学センター)</p>	<p>果 039 赤果肉リンゴの果肉褐変進行時における色彩値変化とその傾向の解析 ○清水拓^{1,2}・岡田和馬¹・森谷茂樹¹・小森貞男³・阿部和幸¹(¹農研機構果樹茶部門²岩手大院連合農学研究科,³岩手大農学部)</p>	<p>果 062 カキ「早秋」における品種内果実形状多様性の調査 ○前田春香¹・赤木剛士^{1,2}・鈴木哲也³・杉浦真由³・新川猛³・田尾龍太郎¹(¹京都大院農学研究科,²JST さきがけ,³岐阜農技セ)</p>	<p>野 013 葉序の方向、株間および仕立て方法がトマトの生育に及ぼす影響 ○松下溪・神田啓仁・今弘幸・林智仁・吉田康徳(秋田県大生物資源)</p>	<p>野 037 トウガラシにおけるアントシアニン着色品種および非着色品種間のCaMYBAゲノム配列の比較 ○上野舞子・土井元章・大翔翔(京都大院農学研究科)</p>	<p>野 060 低カリウムタマネギ生産に向けた生育ステージ毎のミネラル吸収パターンの解析 ○岡田啓史・山本純之・細川宗孝・林孝洋(近畿大院農学研究科)</p>
9:30	<p>果 015 ニホンナシ受粉樹に対する植物成長調節剤の処理が花芽着生および花粉採取量に及ぼす影響 ○柴崎茜・前島秀明・島田智人・浅野亘(埼玉農技研セ)</p>	<p>果 040 リンゴ果実の異なる部位におけるスクロース蓄積とスクロース蓄積関連酵素活性および遺伝子発現との関係 ○小原均¹・室田昂暉²・齋藤隆徳³・大川克哉³・近藤悟³(¹千葉大環境健康フィールド科セ,²千葉大園芸学部,³千葉大院園芸学研究科)</p>	<p>果 063 深層学習によるカキ果実における生理障害の画像診断および判断要因の可視化 ○赤木剛士^{1,2}・黒木陵平³・大西信徳⁴・鈴木哲也³・新川猛⁵・田尾龍太郎¹・内田誠一³・伊勢武史⁴(¹京都大院農学研究科,²JST さきがけ,³九州大院システム情報科,⁴京都大フィールド研,⁵岐阜農技セ)</p>	<p>野 014 ミニトマトの花房先端に発生する壊死症状と発生に及ぼす品種・養水分の影響 ○新開茉莉子・森和也・菅原敬(山形最上産地研)</p>	<p>野 038 トウガラシの葉が持つ強力なRNase活性を制御する遺伝子座の特定 ○梅林綾香¹・安井康夫¹・白澤健太²・細川宗孝³(¹京都大院農学研究科,²かずさDNA研,³近畿大農学部)</p>	<p>野 061 富山県におけるタマネギ秋冬どり栽培の成立要因 ○西畑秀次・浅井雅美・村上賢治(石川県大院生物資源環境学研究)</p>
9:45	<p>ニホンナシ(省力化・省害) 村上 寛</p> <p>果 016 ニホンナシのジョイントV字トレス樹形における自動走行車利用によるせん定および収穫作業の省力化 ○関達哉・廣瀬恭祐・柴田健一郎(神奈川農技セ)</p>	<p>育苗・施肥(リンゴ等) 井上 博道</p> <p>果 041 りんごポット養成フェザー育苗成時におけるかん水の生育向上効果 ○浅川知則・高橋藍・佐々木真人(岩手農研セ)</p>	<p>カキ 2 中務 明</p> <p>果 064 中高圧処理によるカキの迅速脱渋法(第1報) 圧力による渋味消失条件 ○新川猛¹・杉浦真由¹・神谷仁¹・中浦嘉子²・渡邊高志²・山本和典^{2,3}(¹岐阜農技セ,²農研機構食品部門³農研機構食農ビジネス推進セ)</p>	<p>栽培(ナス・スイカ) 鳥越 昌隆</p> <p>野 015 ナス促成栽培におけるパーク堆肥の施用が日焼け果の発生に及ぼす影響(連用2年目までの検討) ○佐野大樹(岡山農研)</p>	<p>野 039 “花成誘導台木”としての利用を目的としたダイコン品種間のFT遺伝子の発現比較 ○元木航¹・木下有羽¹・細川宗孝²(¹京都大院農学研究科,²近畿大農学部)</p>	<p>野 062 茨城県における春移植タマネギの播種晩限は2月上旬である ○森田名那子(茨城県農セ園芸研)</p>
10:00	<p>果 017 樹園地下草管理における芝刈り用自動草刈り機(オートモア)の実用性検討 ○柴田健一郎・廣瀬恭祐・関達哉(神奈川農技セ)</p>	<p>果 042 川砂施用によるリンゴ樹の初期生育促進効果 ○大野浩・佐々木真人(岩手農研)</p>	<p>果 065 中高圧処理によるカキの迅速脱渋法(第2報) 圧力による脱渋の品種間差 新川猛¹・杉浦真由¹・神谷仁¹・中浦嘉子²・渡邊高志²・山本和典^{2,3}(¹岐阜農技セ,²農研機構食品部門³農研機構食農ビジネス推進セ)</p>	<p>野 016 水ナス栽培におけるCO₂施用・細霧冷房の効果検証 ○瀬上修平¹・大石(鈴木)真実¹・西村幸芳¹・磯部武志¹・岩崎泰永²・安東赫²・中村謙治³・永田優育³(¹大阪環農水総研,²農研機構野菜花き部門³エスベックミック(株))</p>	<p>遺伝子解析2 磯部 祥子</p> <p>野 040 Distribution of histone H3 lysine 27 trimethylation in different tissues of <i>Brassica rapa</i> ○アクタアヤシヤ・宮路直実・安田剛志・藤本龍(神戸大院農学)</p>	<p>栽培(タマネギ) 瀧 典明</p> <p>野 063 浅耕が直播タマネギの出芽、生育および収量に及ぼす影響 ○杉戸智子・林恰史・吉田晋一・長南友也・中村卓司(農研機構北農研)</p>
10:15	<p>果 018 ニホンナシ園(砂丘未熟土)における省力的な落葉処理方法 ○長澤正士¹・照井真²・渡会直人¹(¹秋田果樹試天王,²秋田果樹試)</p>	<p>果 043 高原山椒の培養苗の育苗時における施肥量が圃場へ移植後の成長に及ぼす影響 ○茂木靖和(岐阜森林研)</p>	<p>果 066 果実の¹³⁷Cs濃度が異なる隣接樹体の土壌調査 ○堀井幸江^{1,2}・関澤春仁³・草場新之助¹(¹農研機構果樹茶部門²農研機構東北農研,³福島農総セ)</p>	<p>野 017 ナスの促成栽培における日没後加温がハウス内環境および果実肥大に及ぼす影響 ○古賀武・龍勝利・松野聡(福岡農林試筑後)</p>	<p>野 041 ハクサイにおける全ゲノムメチル化解析 ○藤本龍¹・高橋聡史²・鈴木稜³・関原明²・安田剛志¹(¹神戸大院農学研究科,²理研環境資源科学研セ,³東大院新領域創成科学研究)</p>	<p>野 064 東北地域のタマネギ春まき作型において定植時期および品種が生育ステージならびに乾物生産特性に及ぼす影響 ○木下貴文・山本岳彦・室崇人(農研機構東北農研)</p>
10:30	<p>果 019 ナシ萎縮病菌 <i>Fomitiporia torreyae</i> の腐朽長と樹皮の関係 ○吉田明広¹・青木由¹・金子洋平^{1,2}・鈴木健¹(¹千葉農林総研セ,²千葉印旛農事務所)</p>		<p>果 067 同一は場におけるカキ幼果の放射性セシウム濃度の樹体間差 ○関澤春仁¹・堀井幸江^{2,3}・八戸真弓⁴・濱松潮香³(¹福島農総セ,²農研機構果樹茶部門³農研機構東北農研,⁴農研機構食品部門⁵農研機構)</p>	<p>野 018 黒皮種なしスイカの盛夏期収穫における遮光及びかん水処理が果実品質に及ぼす影響 ○千吉良敦史・猪狩恵美・齊藤俊一(千葉農林総研セ)</p>	<p>野 042 新規手法による福島県保有アスパラガス系統の超雄判別 ○村越佳奈子・大竹智美(福島農総セ)</p>	<p>野 065 東北地域のタマネギ春まき作型における簡易な生育診断指標の検討 ○山本岳彦・木下貴文・室崇人(農研機構東北農研)</p>

野菜Ⅳ A304	花きⅠ A416・417	花きⅡ A305	利用Ⅰ A306	利用Ⅱ A309	時間
<p>育種・栽培 (コマツナ・キャベツ) 松元 哲</p> <p>野 081 Brassica rapa L. と <i>Erica sativa</i> Mill. との属間交雑後代のアブラナ科白さび病菌 (<i>Albugo macrospora</i>) に対する宿主反応 (第7報) ○上西愛子¹・吉田誠¹・植草秀敏¹・北宜裕² (1) 神奈川県農林技術センター, (2) 日大生物資源)</p> <p>野 082 保水性樹脂の培養土混和による夏季育苗キャベツセル苗の生育向上と灌水頻度の低減 ○佐藤文生 (農研機構野菜花き部門)</p> <p>野 083 陰イオン吸着資材が硝酸態窒素の溶脱とコマツナの生育に及ぼす影響 ○伊藤政憲・西沢隆 (山形大農学部)</p>	<p>育種・品種特性 原田 太郎</p> <p>花 013 バラ切り花の日持ち性と花弁形状の関係 ○稲崎史光¹・喜多見一²・市毛秀則¹ (1) 茨城県農総生工研, (2) 茨城県民生活環境部)</p> <p>花 014 エストロゲン処理が施設内でのストリーパー日持ち性に及ぼす影響 ○中村薫・倉永泰代 (宮崎総農試)</p> <p>花 015 輪ギクにおける腋芽発生様相の品種・系統間差と作型に応じた変化 ○近藤孝治¹・中村知佐子²・栗山拓郎¹・國武利浩³・村井かほり¹ (1) 福岡農林試資源センター, (2) 筑後農林南筑後センター, (3) 経営技術支援課)</p>	<p>成分・色・香りⅠ 大久保 直美</p> <p>花 032 現存するカーネーション品種の花の色の特徴と花色素に関する研究 ○森本隼人・安藤優花・杉原寛章・鳴海貴子・高村武二郎・深井誠一 (香川大農学部)</p> <p>花 033 シクラメン花弁におけるアントシアニンの5位の配糖体化の遺伝と花色への影響 ○田中久美子・高村武二郎 (香川大農学部)</p> <p>花 034 シクラメンの蕾から開花までの花弁における色素とその生成関連遺伝子の発現 ○加畑真理・鳴海貴子・深井誠一・高村武二郎 (香川大農学部)</p>	<p>収穫後生理 (果樹) 鈴木 卓</p> <p>利 013 バレンシアオレンジのフラバドにおけるカロチノイドおよびクロロフィル代謝に及ぼす青色光照射の影響 ○北谷友梨佳¹・二村実里²・馬剛¹・張嵐翠¹・八幡昌紀^{1,2}・山脇和樹^{1,2}・加藤雅也^{1,2} (1) 静岡大農学部, (2) 静岡大院総合科学技術研究科)</p> <p>利 014 ウンシュウミカン果実におけるカロチノイド代謝に及ぼすアブジジン酸および貯蔵温度の影響 ○古屋拓真¹・馬剛²・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・山脇和樹^{1,2}・松本光³・加藤雅也^{1,2} (1) 静岡大院総合科学技術研究科, (2) 静岡大農学部, (3) 農研機構果樹茶部門)</p> <p>利 015 Inhibition of Postharvest Mold Decay by Cinnamaldehyde Fumigation on Nishnan No.1 Satsuma Mandarin ○Parkkyung-Jin^{1,2}・Kimsang-Suk¹・Kangseok-Beom¹ (1) Citrus Research Institute, National Institute of Horticultural and Herbal Science, (2) Department of Horticultural Science, Kyungpook National University)</p>		9:00
<p>栽培 (ナバナ・ホウレンソウ等) 上西 愛子</p> <p>野 084 「のらぼう菜」 (<i>Brassica napus</i> L.) の川崎市在来系統における側枝の切り戻しが収量と品質に及ぼす影響 (第4報) ○柘植一希¹・元木悟² (1) 明治大院農学研究科, (2) 明治大院農学部)</p>	<p>花 016 重イオンビーム照射雌性配偶子が重複受精と胚発生に及ぼす影響 ○村田宗謙¹・渡川友里恵¹・林依子²・阿部知子²・國武久登¹・平野智也^{1,2} (1) 宮崎大農学部, (2) 理研仁科加速器研セ)</p>	<p>花 035 クサキョウチクトウ青色品種の花色変化 ○井上結里奈・國分高 (千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>利 016 モモ「桃水」の自己触媒的エチレン生成能と軟化特性 ○河井崇¹・秋田香雅里²・渡邊咲音¹・橋本優菜¹・深松陽介¹・高田大輔³・福田文夫¹・中野龍平⁴ (1) 岡山大院環境生命科学研究科, (2) 岡山大農学部, (3) 福島大農学部, (4) 京都大院農学研究科)</p>		9:45
<p>野 085 異なる形状の植穴がスイートコーンの生育、収量および耐倒伏性に及ぼす影響 ○田中修平¹・津田溪子²・田口巧²・加藤綾夏¹・長山弥生¹・小澤真央¹・元木悟¹ (1) 明治大農学部, (2) 明治大院農学研究科)</p>	<p>病害・生理障害 近藤 孝治</p> <p>花 017 キク矮化ウイルスの抵抗性遺伝バターンと不定根形成に及ぼす影響 ○大坂正明¹・板橋建¹・千葉直樹¹・津田花愛¹・足立陽子¹・佐々木厚¹・松下陽介² (1) 宮城農園研, (2) 農研機構野菜花き部門)</p>	<p>成分・色・香りⅡ 高村 武二郎</p> <p>花 036 ハナスベリヒユにおける黄色花色発現とベタキサンチン生成との関係 ○杉浦尚吾¹・櫻田実沙季¹・佐々木伸大²・樋口洋平¹・柴田道夫¹ (1) 東大院農学生命科学研究科, (2) 東洋大食環境学学部)</p>	<p>利 017 エゴマにおける機能性成分の高効率生産技術およびそれら関連代謝物の一斉分析法の開発 ○小川瑛利子¹・高橋麻起子¹・阿部圭馬¹・後藤一法¹・南谷健司² (1) (株) アミノアップ, (2) (公財) 北海道科技総振セ)</p>		10:00
<p>野 086 夏季の高温ストレス下におけるホウレンソウ栽培法の確立 ○田井超洋¹・澤田有可²・大門弘幸³・深尾陽一郎¹ (1) 立命館大院生命科学研究所, (2) 理研環境資源科学, (3) 龍谷大農学部)</p>	<p>花 018 キク白さび病 (<i>Puccinia horiana</i>) 担子胞子の検鏡による観察 ○白山竜次・原田陽帆 (鹿児島農総セ)</p>	<p>花 037 バラ切り花の香りに与える温度の影響 ○大久保直美 (農研機構野菜花き部門)</p>	<p>利 018 水耕栽培における純水置換がエゴマの生育および機能性成分に及ぼす影響 ○南谷健司¹・小川瑛利子²・阿部圭馬²・後藤一法²・田坂恭嗣³・松村健³ (1) (公財) 北海道科技総振セ, (2) (株) アミノアップ, (3) 産総研)</p>		10:15
	<p>花 019 土壌中のクロピラリド濃度がスイートピーの初期生育に及ぼす影響 ○起汐一広・中村薫・長友広明 (宮崎総農試)</p>	<p>花 038 芳香性バラ切り花品種で発生する奇形花における花弁の部位別の可溶性糖代謝の変化 ○金枝裕¹・山本将²・半田高³ (1) 明治大院農学研究科, (2) 明治大研究・知財戦略機構, (3) 明治大農学部)</p>	<p>利 019 発育中のアロニア果実における抗酸化成分含量および数種抗酸化活性値の推移 ○長田亜梨沙¹・堀川謙太郎¹・井上壽哉²・中村秀夫³・実山豊¹・鈴木卓¹ (1) 北海道大院農, (2) ホクサン (株), (3) 北教大函館)</p>		10:30

時間	果樹 I A312	果樹 II A301	果樹 III A302	野菜 I A204	野菜 II A208	野菜 III A303
13:15	<p>ニホンナシ(栽培管理) 長澤 正士</p> <p>果 020 根の混和がニホンナシのいや地現象発生に及ぼす影響 ○戸谷智明¹・鈴木健¹・藤井義晴² (1千葉農林総研セ,²東京農工大)</p>	<p>核果類(育種・耐凍性) 別府 賢治</p> <p>果 044 花卉数の多い花モモ新品種‘ブードルピンク’、‘ブードルレッド’および‘ブードルホワイト’の育成経過と特性 ○山口正己¹・馬場正¹・末貞佑²・安達栄介³・山根崇嘉²・澤村豊²・八重垣英明² (1東京農大農学部,²農研機構果樹茶部門,³山形農総研セ園試)</p>	<p>ベリー類(遺伝育種) 瀬古澤 由彦</p> <p>果 068 根室半島における四倍体ハスカップの自生と北海道東部の倍体混在集団の特徴 ○津村美悠¹・星野洋一郎^{1,2} (1北海道大院環境科学院,²北海道大北方生物園フィールド科学セ)</p>	<p>テーマセッション「接ぎ木を科学し農業に活かす」 白武 勝裕</p> <p>野 019 接ぎ木はいかにして接着するのか? - 分子機構の解明と農業への応用に向けた取り組み - ○野田口理孝¹・岡安浩次¹・澤井優¹・鈴木孝征²・黒谷賢一¹ (1名古屋大院生命農学研究科,²中部大応用生物学部)</p>	<p>育種・環境制御(レタス・ハクサイ) 福田 直也</p> <p>野 043 人工光型植物工場におけるレタスのフェノタイプング効率化に向けたポット栽培の検討 ○山原住那子¹・丸尾達¹・淨閑正史¹・塚越寛 (千葉大園芸学部)</p>	<p>栽培(ネギ) 西畑 秀次</p> <p>野 066 ネギ7月どり栽培において灌水と定植前リソ酸苗施用が収量・品質に及ぼす影響 ○村山徹 (農研機構東北農研)</p>
13:30	<p>果 021 ニホンナシの改植における高温水点滴処理が定植後の樹の生育に及ぼす影響 ○平井達也¹・戸谷智明¹・鈴木健 (千葉農林総研セ)</p>	<p>果 045 ネクタリン新品種‘スイートクリスタル’の育成 ○山口維尚¹・等々力友也²・田尻勝博³・平賀正浩¹・玉井浩¹・泉克明¹ (1長野果樹試,²長野南信農試,³長野松本農改セ)</p>	<p>果 069 ブルーベリーの種間雑種集団の作出および単為結果性の簡易評価 ○宮下千枝子¹・小坂井宏輔¹・山田哲也²・伴琢也³ (1東京農総研セ,²東京農工大農学研究科,³東京農工大農学部)</p>		<p>野 044 人工光型植物工場専用レタス品種育成に必要なチップバーン抵抗性数値評価法の確立 ○荒川隆太¹・木村哲²・丸尾達¹・淨閑正史¹・塚越寛¹ (1千葉大院園芸研究科,²(株)吉野家ホールディングス)</p>	<p>野 067 ネギ7月どり栽培でのネギ栽培における肥効調節型肥料の局所施肥効果 ○瀧典明¹・吉田千恵 (宮城農園研)</p>
13:45	<p>果 022 ニホンナシ改植時における土壌への高温水処理・根底制限処理と1株3樹植えによる早期多収技術 ○加川敬祐¹・郷内武¹・市毛秀則²・藤田裕³・清水明¹・寺門巖¹・飯村強¹ (1茨城農総セ園研,²茨城農総セ生工研,³茨城農総セ)</p>	<p>果 046 冬期間においてモモ樹皮を低温処理した時の細胞傷害率の変化 ○船山瑞樹 (秋田果樹試)</p>	<p>果 070 大果で食味の良いラズベリー‘NR-18’の育成 ○石川一憲¹・馬場正¹・藤澤弘幸¹・石川明男¹・山口正己 (東京農大農学部)</p>	<p>野 020 接ぎ木がトマトの生育、収量および果実糖度に及ぼす影響 ○中畝誠¹・塚澤和憲¹・白武勝裕² (1埼玉農技研セ,²名古屋大院生命農学研究科)</p>	<p>野 045 レタス個葉のチップバーンの発生の有無は、どのステージで決定されるか? ○丸尾達¹・荒川隆太¹・淨閑正史¹・塚越寛 (千葉大院園芸研究科)</p>	<p>野 068 葉ネギの加工業務用栽培における積算気温および日射遮蔽率から収量の推定 ○松崎朝浩¹・植田舞世² (1香川農革新支援セ,²香川農試)</p>
14:00	<p>ニホンナシ等(果実特性) 戸谷 智明</p> <p>果 023 自家および他家受粉が自家和合性品種‘おさゴルド’の果実形質に及ぼす影響 ○中島由葵¹・山口俊春²・金高伸吾³・虎尾亮³・池田隆政⁴・村山秀樹⁵・平山隆志⁶・森泉⁶・松浦恭和⁶・板井章浩¹ (1京都府大院生命環境科学研究所,²京都農林技セ,³鳥取大農学部,⁴鳥取園試,⁵山形大農学部,⁶岡山大資源植物研)</p>	<p>核果類(栽培) 船山 瑞樹</p> <p>果 047 アウトウ「紅秀峰」大玉生産のための灌水の目安 ○安藤隆之¹・工藤信¹・會田孝裕¹・米野智弥¹・長岡正三 (山形農総研園試)</p>	<p>ブルーベリー 星野 洋一郎</p> <p>果 071 ブルーベリー種間雑種単為結実性系統における果実発育に伴う植物ホルモン含量の変化と受粉の影響 ○須田穂高¹・宮下千枝子²・瀬古澤由彦³・菅谷純子³ (1筑波大院生命環境科学研究所,²東京農総研セ,³筑波大生命環境系)</p>	<p>野 021 プロテオーム解析による接ぎ木メカニズムの解明 ○中畝誠¹・塚澤和憲¹・黒谷賢一²・岡安浩次⁴・野田口理孝⁴ (1立命館大院生命科学研究科,²名古屋大院理科学研究科,³名古屋大 ITbM,⁴名古屋大院生命農学研究科)</p>	<p>野 046 水耕栽培におけるハクサイのチップバーン発生と活性酸素の関連性 ○合田貴峻¹・鈴木伸洋 (上智大院理工学研究科)</p>	
14:15	<p>果 024 ニホンナシ挿し木苗‘きらり’、‘にっこり’の果実特性 ○鷲尾一広¹・石下康仁²・大谷義夫³ (1栃木農試,²栃木河内農振,³栃木経流課)</p>	<p>果 048 アウトウジョイントV字トリス栽培の果実生産性 ○安達義輝¹・桑名篤¹・三田村諭¹・南春菜¹・渡邊善仁¹・増子俊明 (福島農総セ果樹研)</p>	<p>果 072 Effects of pre-harvest UV-B irradiation on fruit development and anthocyanin biosynthesis in blueberry ○Li,Taishan¹・山根久代¹・田尾龍太郎 (京都大院農学研究科)</p>	<p>野 022 接ぎ木植物の二次代謝物を標的としたメタボローム解析 ○中林亮 (理研 CSRS)</p>		
14:30	<p>果 025 新潟県の主要果樹の果実および廃棄物における機能性物質 ○尾島清秀¹・石橋卓馬 (新潟大農学部)</p>	<p>果 049 モモV字形整枝樹における収穫作業の作業性評価 ○杉山洋行¹・山根崇嘉¹・三谷宣仁¹・伊東明子¹・羽山裕子¹・草場新之助 (農研機構果樹茶部門)</p>	<p>果 073 植物成長調節物質がブルーベリー果実の着色に及ぼす影響 ○西部将史¹・乃万了²・田崎啓介³・水田大輝⁴・伴琢也² (1東京農工大農学部,²東京農工大農学部,³東京農大農学部,⁴日本大生物資源科学部)</p>	<p>野 023 接ぎ木植物のイオノーム解析およびホルモノーム解析 ○白武勝裕¹・牧野治子¹・川口航平¹・中畝誠²・馬建鋒³・榎原均⁴・小嶋美紀子⁴・竹林裕美子⁴・田淵俊人⁵・野田口理孝¹ (1名古屋大院生命農学研究科,²埼玉農技研セ,³岡山大資源植物科学研,⁴理研 CSRS,⁵玉川大農学部)</p>		

第2日 3月24日(日) 13:15 ~ 14:45

野菜Ⅳ A304	花きⅠ A416・417	花きⅡ A305	利用Ⅰ A306	利用Ⅱ A309	時間
					13:15
					13:30
					13:45
					14:00
					14:15
					14:30